

第3次総合計画策定のための市民会議

まちの未来を考えよう!

地域コミュニティ

防災・防犯

環境・自然

子ども・子育てA

子ども・子育てB

福祉・介護

保健・医療・健康づくり

都市整備・まちづくり

産業・観光
A

産業・観光
B

生涯学習・文化・スポーツ

社会教育・学校教育

傍聴席

受付

◆ 日時 **12/18** (月) 19:00~21:00

◆ 場所 地域防災交流センター
(南アルプス市十五所1014
南アルプス市市消防本部 2階)

- ◆ 受付にてお伝えしましたテーマのテーブルにお座り下さい。
- ◆ 各テーブルにある名札にお名前をお書き下さい。

南アルプス市の 将来像を描く 10名の登場人物



Aさん (70歳代・男性・自治会役員)



Bさん (70代・女性・民生委員)



Cさん (50歳代・夫婦)



Dさん (30歳代・女性・子育て中)



Eさん (40歳代・男性・障がい者)



Fさん (20歳代・男性・専業農家)



Gさん (50歳代・女性・飲食店経営)



Hさん (30歳代・男性・会社員)



Iさん (60歳代・男性・無職)



Jさん (10歳代・女性・市内高校生)

Aさん（70歳代・男性・自治会役員）



- ✓最近は若者や外国人などの移住者も増えた。
- ✓自治会に入らない世帯も増え、住民同士のつながりが弱くなった。
- ✓近所で見慣れない人も増えて、防犯や災害時が不安。
- ✓開発が進み、生活道路に車が入り込んで危険。
- ✓防犯・防災活動に積極的に参加する人も減少。

自治会の機能が低下すると、地域の安全・安心が保たれなくなるのでは？

Bさん（70代・女性・民生委員）



- ✓地域の高齢者の見守りなどの取り組みが自分の生きがいにもつながっている。
- ✓地域活動に参加せず、孤立する高齢者が増えている。
- ✓生活面で問題を抱えていても、本人が支援を求めなければ手助けができない。
- ✓地域の活動は男性中心であり、会議などで女性が意見を言いにくい雰囲気もある。

高齢化が進む中で、社会から取り残されていく高齢者が増えるのでは？

Cさん（50歳代・夫婦）



- ✓山登りが趣味で、毎年南アルプス登山を楽しんでいる。
- ✓コロナ禍は入山禁止で楽しめなかった。
- ✓コロナ明けて登山者が増えて、自然が損なわれるのではと心配。
- ✓年々開発が進み、農地や身近な自然が減っていることが心配。

豊かな地域の自然環境をどのように守っていくことが出来るのか？

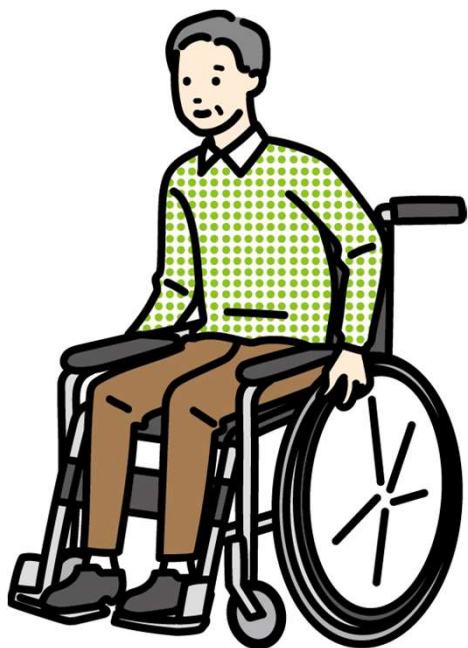
Dさん（30歳代・女性・子育て中）



- ✓ 共稼ぎで、保育園に通う2人の子どもの育児中。
- ✓ 身近に子育ての相談ができる人がおらず、ママ友もできない。
- ✓ 家族一緒の時間が少なく、子どもに寂しい思いをさせているのではと心配。
- ✓ 子育てに不安に感じることや自信がなくなることもある。

共稼ぎをしなければならない中で、子育てへの不安が解消されない？

Eさん（40歳代・男性・障がい者）



- ✓現在は就労支援事業所に通っている。
- ✓一般就労の相談をしているが、自分に合った企業が見つかるか不安。
- ✓車いすを利用しているが、道路の段差などもあり、移動しづらさを感じる。
- ✓外出先で差別や偏見を感じることもある。

障がい者に対する地域社会の理解がなかなか進まないのでは？

Fさん（20歳代・男性・専業農家）



- ✓ 県外から移住して、果樹を生産している。
- ✓ 近年のシャインマスカット人気で、ある程度の収入は得られている。
- ✓ 農業に関心のある若者も増えている。
- ✓ 高齢化で耕作放棄地や宅地が増える中で、将来の地域の農業に不安を感じている。

農家の高齢化や開発が進む中で、これからの農業はどうなるのか？

Gさん（50歳代・女性・飲食店経営）



- ✓人口減少により店の売上が低迷している。
- ✓大型店舗の進出による地域の活性化に期待。
- ✓半面、大型店舗の進出により、さらなる売上減少とならないか不安。
- ✓自分の子どもの世代は、進学や就職で地域を離れる人が多い。

人口が減少する中で、地元中小企業はどのように生き残ることができる？

Hさん（30歳代・男性・会社員）



- ✓ 県外で就職したが、自然豊かな実家に戻りたい。
- ✓ 市内での就職を希望しているが、就職活動が難航している。
- ✓ 将来は市内で家庭を持ちたいが、収入面で不安。
- ✓ 地域には若者が働きたいと思う仕事がないと諦める人が多い。

市内でやりたい仕事に就いて、安定した収入を得ることができるのか？

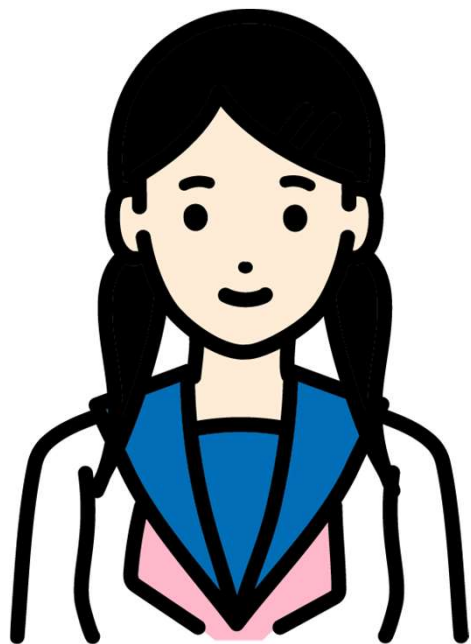
Iさん（60歳代・男性・無職）



- ✓会社を定年退職し、親の畑を手伝いながら、第二の人生を模索中。
- ✓市内に生涯学習の情報が少なく、新たな学びのきっかけが見つけれられない。
- ✓地域のために何か役立つことができないかと考えている。
- ✓どのような場や機会があるか、自分に何ができるのかが分からない。

定年退職後、どのように生きがいややりがいを見つけることが出来るか？

Jさん（10歳代・女性・市内高校生）



- ✓ 大学受験に向けて予備校に通っている。
- ✓ 「総合的な学習の時間」で地域での実践活動に通り組んでいる。
- ✓ しかし、地域との接点が少なく、地域の魅力を知る機会が限られている。
- ✓ 将来の先行きが見えない中で、本当に勉強だけで十分なのか不安。

どのようにして若者が自分らしい生き方を見つけることができるのか？